



平成25年度の主な取り組み

— 国立がん研究センター新ビジョンの策定 —

革新への挑戦と変革 Novel, Challenge and Change

研究所

早期・探索臨床研究
センター

中央病院

東病院

がん予防・検診研究
センター

がん対策情報
センター

がんにならない、がんを負けない がんと生きる社会をめざして

〔 2014年8月4日 厚生労働省独立行政法人評価委員会
高度専門医療研究部会説明資料 〕

がん研究対策と 国立がん研究センターの歩み

がん研究10か年戦略(2014-2023)

第2次がん対策推進基本計画(2012)

がん登録推進法(2013)

日本再興戦略(2013)

健康・医療戦略(2014)

独立行政法人日本医療研究
開発機構法(2014)

第3次対がん10か年総合戦略
(2004-2013)

がん対策基本法(2006)

がん対策推進基本計画(2007)

がん克服新10か年戦略
(1994-2003)

対がん10か年総合戦略
(1984-1993)

がんが死因の第1位(1981)

1990

東病院開院(1992)
研究所支所(1994)

1980

国立がんセンター創立(1962)
病院・研究所

1960



2000

がん予防・検診研究センター(2004)
東病院臨床開発センター(2005)
がん対策情報センター(2006)

2010

独立行政法人化(2010)

早期・探索臨床研究センター(2011)



研究支援センター(2014)
人材育成センター(2014)

2015

研究開発型独立行政法人(2015)



国立がん研究センターの役割

- 国立高度医療研究センター
- 研究開発型独立行政法人

NCCは、独立行政法人の中でも国内に37機関しかない研究開発型の法人で、がん領域においては唯一

昨年12月24日に閣議決定された「独立行政法人改革に関する基本方針」において、「**研究開発成果の最大化**」を目的とし、**大学又は民間企業が取り組みがたい課題に取り組む**法人として位置づけられた

- **がん専門の研究・早期探索・診療機関**

研究と診療を一体的に進める国内最大のがん専門機関・
早期・探索的臨床試験拠点

国立がん研究センターの役割

国のがん対策

「がん対策推進基本計画」

http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/gan_keikaku.html

がん対策基本法に基づき策定されたがん対策の基本方針
平成24(2012)年度から平成28(2016)年度までの5年間が対象

「がん患者を含む国民が、がんを知り、がんと向き合い、
がんに負けることのない社会」

「がん研究10か年戦略」

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000042871.html>

2014年4月 文部科学大臣、厚生労働大臣、経済産業大臣

「根治・予防・共生 ～患者・社会と協働するがん研究～」

2013年8月 今後のがん研究のあり方に関する有識者会議

座長：堀田知光 独立行政法人国立がん研究センター 理事長

日本が抱える課題

- 高齢化
- ドラッグラグ
- 希少がん対策
- サバイバーシップ
- がん患者の社会的問題
- がん対策の推進と評価
- 専門医療従事者不足

⋮

国立がん研究センターの役割

2013年12月24日閣議決定「独立行政法人改革に関する基本方針」

- 大学又は民間企業が取り組みがたい課題への取り組み
- 世界レベルでの研究開発成果の最大化

希少がん

アジアに多い
難治性がん

早期
臨床開発

標準医療の
確立・普及

サバイバー
シップ

公衆衛生・疫学
社会学的研究

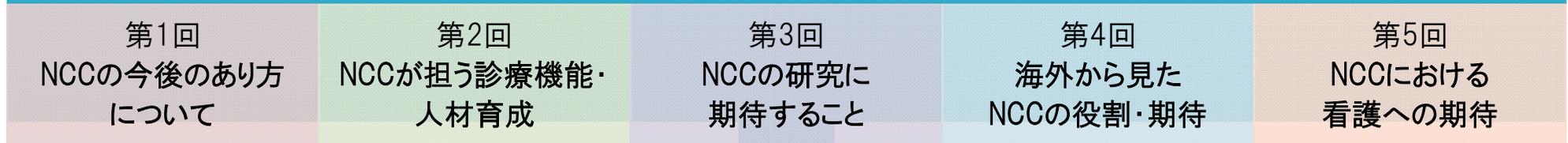
がん対策の
先導役

人材育成
人材輩出

国立がん研究センターのあり方の検討

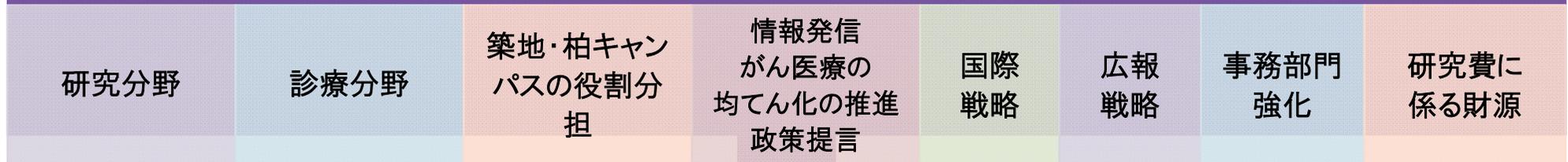
外部有識者からの意見徴収

「NCCの今後のあり方を考える」シンポジウムの開催



内部議論

(コアメンバーによる会議24回開催)



企画戦略局にてまとめ



NCC新ビジョン策定

新生国立がん研究センターの 理念と使命

- 理念

患者・社会と協働し世界最高の研究を行う

- 使命

1. がんの本態解明と予防
2. 高度先駆的医療の開発
3. 標準医療の確立と普及
4. サバイバ-シップの充実
5. 情報の収集と提供
6. 人材の育成
7. 政策の提言
8. 国際貢献

がんにならない、がんを負けない
がんと生きる社会

実現するための組織機能

診療 } を束ねる がん対策実行の先導役
研究 }

基礎研究

橋渡し研究

診療
臨床研究

ヘルス
リサーチ

がん対策
事業

コアファシリティー
事業

基礎研究支援

研究支援機能

臨床研究支援

人材育成機能

～ 基本精神 ～

革新への挑戦と変革 *Novel, Challenge and Change*

基礎研究

- がんの本態解明とそれに基づくバイオマーカー探索
- ファースト・イン・ヒューマンを含む早期臨床開発の推進
- 希少がん、アジアに多い難治性がんの発展・進展・治療抵抗性等の機序の解明に関する研究
- 成果を基礎から臨床につなげる一連の研究活動を推進する基盤整備としてプラットフォーム事業(次世代シーケンス技術を用いた遺伝子解析のデータベース化)

橋渡し研究



- 研究的要素を伴う最先端医療の推進
- 標準医療の確立と普及
- 希少がんセンターの設置
- 緩和医療を含むサポーターズケアセンターの充実
- 内視鏡センター、通院治療センター、臨床試験病棟のさらなる強化

診療・臨床研究

ヘルスリサーチ

ヘルスリサーチセンターの設置

がんを有する患者のみならず、国民全体に研究成果を還元

- 疫学、予防、検診開発、サバイバーシップ、社会学、医療経済、生命倫理、情報提供に関する研究、政策分野に関する研究体制の一本化

がん対策事業

がん対策基本計画実行の先導役

- がん登録データ収集・解析の事業化およびがん登録データを用いた研究基盤の構築
- がん情報の収集と発信
- 診療連携拠点病院のネットワーク強化

研究支援機能

研究支援センターの設置

- 基礎研究、臨床試験、疫学研究、社会学研究、看護研究等全ての研究を一元的に支援

生物統計コンサル、データマネジメント、研究参加者ケア(IC支援等)、戦略的研究費獲得、知的財産、産学連携、研究倫理関連事務 等

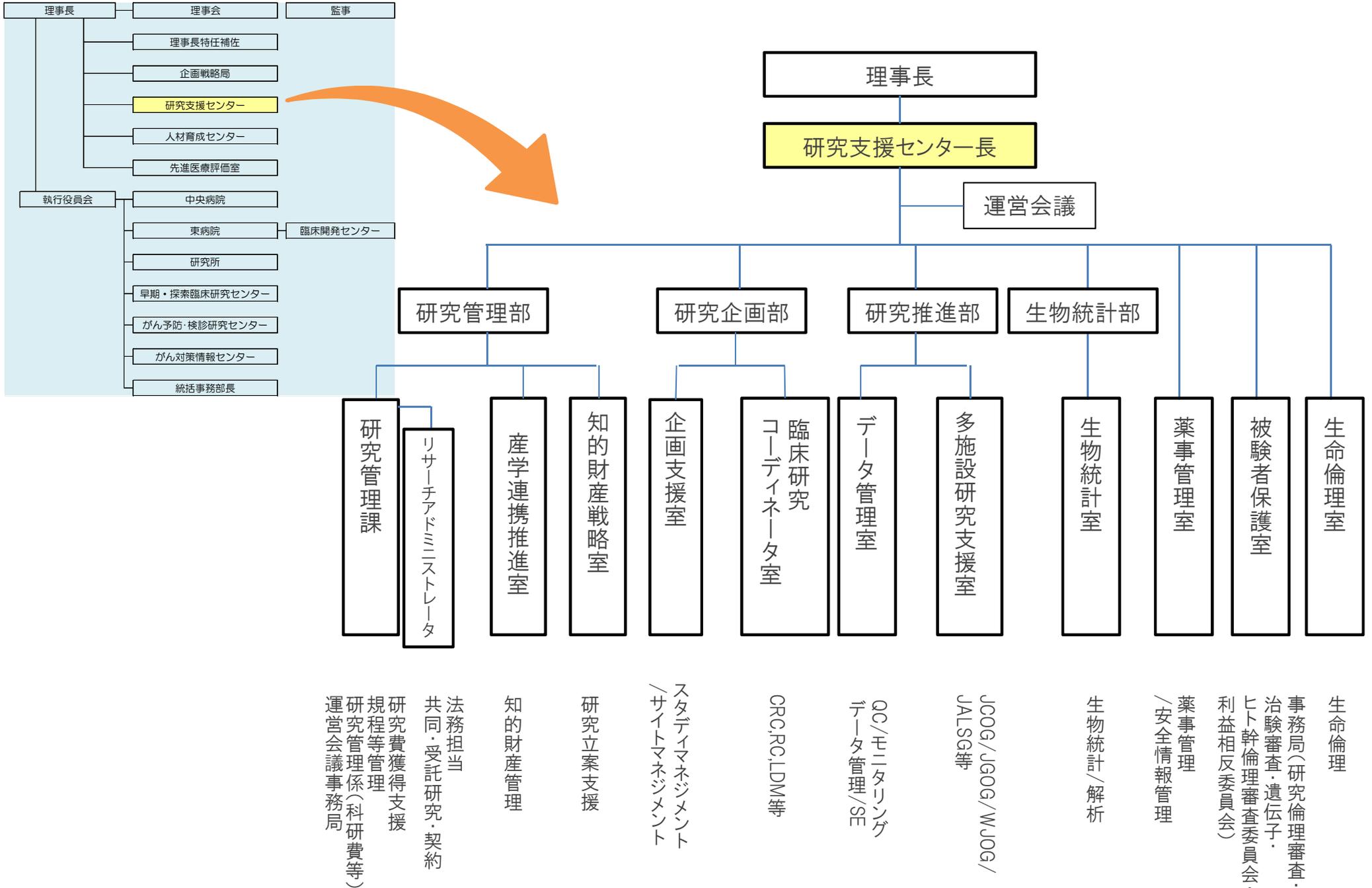
人材育成機能

人材育成センターの設置

- キャリアパスの構築と適正な評価
- 教育プログラムの管理・開発
- 教育施策全体の企画・マネジメント
- わが国のがん医療の均てん化に資する戦略的人材確保と輩出

研究支援センター組織図

がん研究センター組織図



実現するための人事システム

改編目的

- 安心して業務に励める就労基盤の整備
- 管理職に適した人材基準を明確化し、それらの人材を峻別し管理職として養成することで、長期的な管理体制の強化を実現する
- 人材の峻別の結果を踏まえ、外部の医療機関・教育/研究機関への戦略的な人材輩出を行い、がん医療の質の向上と均てん化に資する

実現するための人事システム

医師・研究者のキャリアパスの明確化

- 雇用の見直し
独法移行後、新規採用もしくは昇任者の雇用期間は1年、その他は無期
→ より公平で安定した雇用の確保を目的とした新たな任期制度の導入
- 役職(科長・分野長・部長)任期制の導入
→ 1期3年、再任あり

<必要な能力>

医長・主任研究員: その診療・研究領域における高い**専門能力**(役職ではない)

科長・分野長・部長: 上記能力に加え、優れた**マネジメント能力**(部下の指導や管理、部署における業務改善等)

医師・研究者以外の医療スタッフおよび事務職員のキャリアパスの明確化

- 常勤職員の有期雇用(1年)の見直し
医療職(二)は3年を目途に無期への切り替え可

実現するための充実した診療・研究環境の整備

築地キャンパス新診療棟の整備

世界初の病院設置型BNCT(ホウ素中性子捕捉療法)の設置を予定している新診療棟が平成26年3月に完成。



新診療棟

- 工期:平成23年11月～平成26年3月
- 構造規模:地下2階 地上9階
 - ・放射線治療科・診断科
 - 〔サイバーナイフ
リニアック
サイクロロン
BNCT(導入予定)〕
 - ・検診センター
 - ・内視鏡センター
 - ・がん対策情報センター



リニアック



サイバーナイフ



サイクロロン



検診センター



内視鏡センター



がん対策情報センター

東病院外来棟増築整備

患者数増加による外来スペース狭隘問題解消及び外来エリア機能拡充の為の増築を行った。(平成26年6月30日完成)

- 工期:平成25年7月～平成26年6月
- 構造規模:地上2階
 - (1F)診察室、処置室、売店、ラウンジ、理髪店
 - (2F)診察室、患者家族相談室、サポーターケアセンター、臨床試験支援室



電子カルテの更新

中央病院、東病院で新電子カルテ(MISSION)を平成25年度に導入。



総合棟の新築整備

研究所の老朽化に伴い総合棟の新築整備を計画(平成29年3月完成予定)。旧予検センター棟を解体し、跡地に建設する予定。

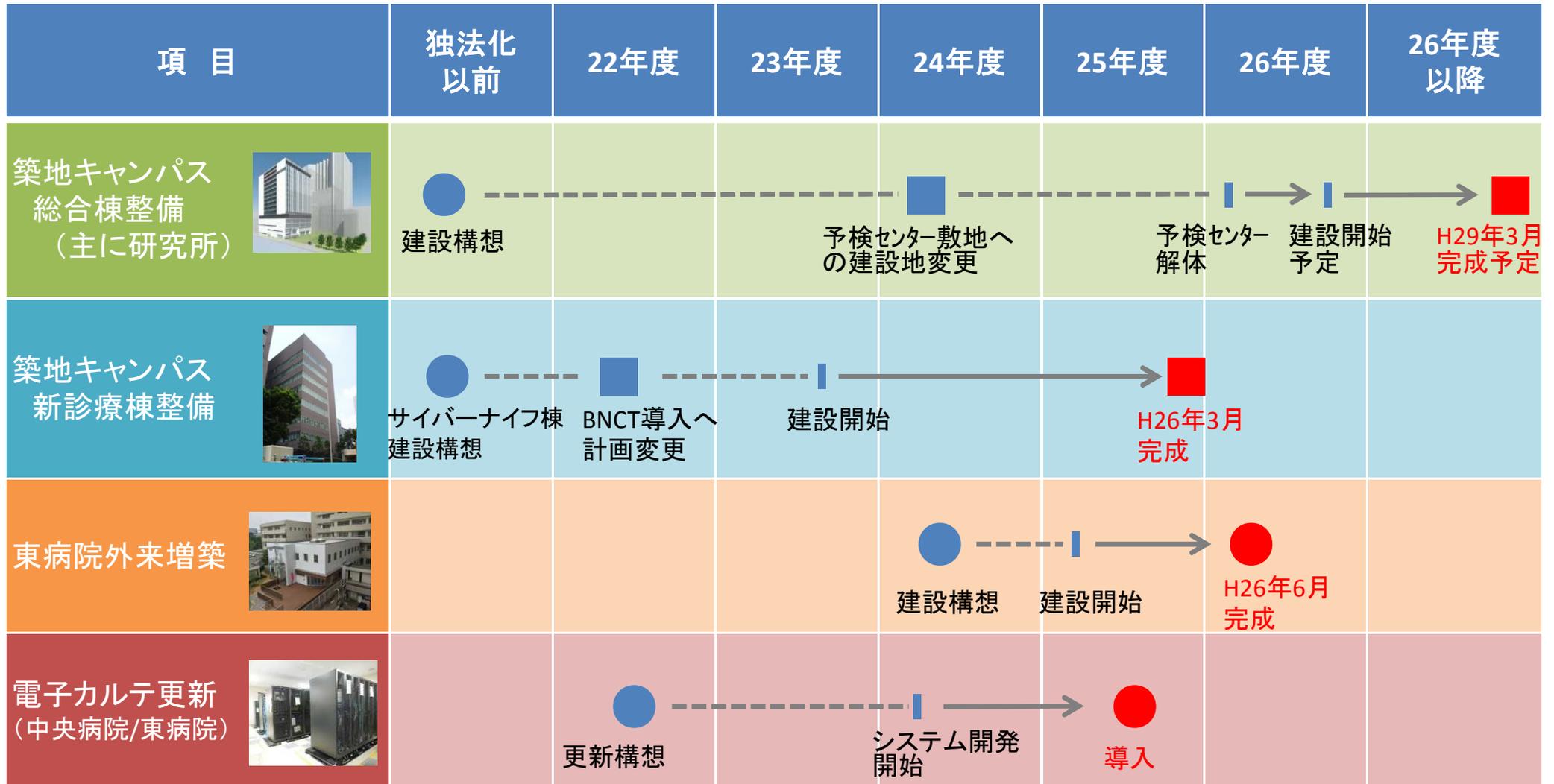


旧検診センターを解体
(平成26年6月～)



完成イメージ案

平成25年度以降の整備実績・計画





独立行政法人国立がん研究センター
National Cancer Center

革新への挑戦と変革

Novel, Challenge and Change